

第 5 回 精華中学校校舎改築等検討委員会 会議録

名 称	精華中学校校舎改築等検討委員会【第 5 回】	
開 催 年 月 日	平成 25 年 2 月 28 日（木）	
開 催 時 間	午前 10 時 00 分～午前 12 時 00 分	
開 催 場 所	精華町立図書館 1 階 集会室（精華町役場内）	
出席者名	委 員	（出席委員） 三井田康記、浜中さゆり、岩井三郎（喜多俊夫代理）、畑喜知、谷清年、安倉敏代、土屋満、江本康宣、木原國夫、 （欠席委員）田中智美、針谷みさゑ、
	事務局	（事務局） 太田教育長、永井総括指導主事、竹島学校教育課長、吉田主幹、水口主事、渡部利光危機管理室長（意見聴取者） （事務局補佐一株式会社福本設計） 木村設計部長、木村聡、岡田輝
傍 聴 人	4 名	
配 布 資 料	資料 1 「第 4 回会議録について」 資料 2 「施設基本計画（平面計画）の再提案と審議について」 資料 3 「施設基本計画（外構計画他）の提案と審議について」	
議 事 の 概 要	1. 開会行事（教育長挨拶） 2. 第 4 回検討委員会議事録の確認及び承認について 3. 議題 ● 施設基本計画の提案と審議について ① 施設基本計画（平面計画）の再提案と審議について ② 施設基本計画（外構計画他）の提案と審議について 4. 第 6 回委員会の日程について 平成 25 年 3 月 26 日（木）PM 14：00～ 町立図書館 1 階 集会室 5. 閉会挨拶	
会 議 の 経 過	別紙のとおり	

1. 開会

①委員長による開会宣言

- ・ 精華中学校学校運営協議会会長の代理として、今後、副会長が出席することに対し承認を求め、委員の承認を得た。
- ・ 精華町の防災・防犯担当から意見を聞くために委員会への出席要請を行い、危機管理室長の渡部利光参事の出席があることの報告を行った。

②教育長挨拶

2. 第4回検討委員会議事録の確認

各委員の確認により承認。

3. 議 題

① 【施設基本計画（平面計画）の再提案と審議について】

第4回の委員会でご意見を頂いた内容に基づき、A案で再検討を行った平面図を提示し、審議を行った。

（見直し内容）

- ・ 教室の大きさについて、6列7人の机が配置でき教員が教室内を廻れる大きさとした。
- ・ バルコニーを中止し庇を設置することとした。
- ・ コミュニティスペースとしてのオープンスペースを中止し、多目的に活用できる部屋とした。
- ・ 配膳室と生徒用更衣室の配置を入れ替えた。

普通教室について

- 普通教室の廊下側の壁について、窓ガラスの位置を高くしたり壁にすることは可能か。

⇒（事務局） 製作をすれば高さの調整は可能。採光等の面から、窓なしの壁にするのは適切ではない。

学校用間仕切りにて高さを調整し、生徒が授業に集中できるよう検討する。

ガラスについては今回透明ガラス・小さめにする等の意見が出たが、実施設計の段階で再度意見聴取を行い、検討する。

配膳室について

- 配膳室より各階へ給食を運搬するにあたって、専用のリフトや各

階にストックルームの配置は可能か。

⇒（事務局） 専用のリフトはコスト面や教室配置等の観点から難しい。運搬は備品として、鍵のかかるようなストッカーについて検討する。

- 今後、給食が開始された時に場所がないと困るので、先を見越した設計をしてほしい。

- 給食が開始されたら、複数クラス・複数学年で一堂に会して食べるのも大事だと思う。

⇒（事務局） 2、3階に多目的ホールを設置しているので活用してもらえると考えている。

エレベーターについて

- 終日稼働は様々な弊害があるので、必要な時に稼働できるようにしたい。そのうえで、運転のためのスイッチを各階に設置してほしい。

⇒（事務局） 生徒の不容易な使用を避けるため、各階にスイッチを設けて学校運営上適切に管理できる様検討する。

- 給食が始まった際、このエレベーターを使用して各階へ運搬するのか。配膳室より各階へ生徒が運搬する際、同乗するのか。

⇒（事務局） 生徒がエレベーターを利用して給食を運搬することを想定している。

給食についてはまだ検討段階であり、具体的な運用方法については今後検討していく予定。

- 何人乗りのエレベーターか。

⇒（事務局） 11人乗りを想定している。

災害時の避難について

- 火災などが起こった場合の避難距離については大丈夫か。

⇒（事務局） 法的には耐火構造の建物なので避難距離は 50m 以下である。今回のプランではどの部屋からでも 40m 程度で階段に至り、二方向避難も確保している。

② 【施設基本計画（外構計画他）の提案と審議について】

外構計画・設備計画・省エネ計画・防犯計画・防災計画について、外構計画図を提示し、審議を行った。

武道場用地について

- 武道場の建築時期はいつか。時期がずれるのであれば、それまでの間の維持の方法もお教え願いたい。
 - ⇒（事務局） 同時建設は難しい。時期については今のところ未定。
建設までの用途としては生徒の活動スペースとして活用することを想定している。
- 建設されるまでの間、生徒が多目的スペースと同様に活用できるような整備内容にて願います。
 - ⇒（事務局） 多目的スペースと同様の位置づけとして同様の整備を行なっていく。

中庭について

- インターロッキング舗装とあるが、土や芝生の方が使い勝手がいいと思う。
 - ⇒（事務局） 芝生には天然芝と人工芝があるが、天然芝だと維持管理に多大な労力と費用がかかる上、車両を乗入れると枯れてしまう。
人工芝だと定期的に入替えが必要である。
多様な活用の観点から、インターロッキングが最適だと考えている。

プール棟について

- 屋外プールは日焼け止めを塗る生徒が多い。屋根を設置することは可能か。
 - ⇒（事務局） すべてを覆うような屋根の設置は難しい。プールサイドへ日陰が出来るような配慮をする。

緑化計画について

- 常緑樹でお願いしたい。

テニスコートについて

- 現状マンホールと排水溝等があり、危険である。考慮して整備してほしい。
 - ⇒（事務局） 現状を確認し、危険の無いような改修を行なっていく。

渡り廊下について

- 1F部分の渡り廊下について、雨天時に雨が廊下に侵入することが多々ある。屋根の高さを低くしたり幅を広くすることは可能か。
⇒（事務局） 低くすると車両の往来がある場合通れなくなる可能性がある。
- 車の通らないと想定できる場所は、低くすることより幅を広くすることのほうが重要と思う。
⇒（事務局） 実施設計の中で考慮していきたいと考えている。

LED 照明器具について

- 機器設置コストが非常に高額であり、優先的に検討していただきたい。
⇒（事務局） イニシャルコストは以前と比べると比較的下がってきており、4年ほどで採算が取れると試算している。
蛍光灯に比べてイニシャルコストが非常に高いことから十分な検討を行なっていく。

太陽光発電について

- 太陽光発電と蓄電池について詳しく教えてほしい。
⇒（事務局） 従来の太陽光発電については停電時には役に立たないと言われており、太陽光発電と蓄電池を併せ持つものが今の主流となっている。
屋根面に太陽光パネルを設置、屋上の空調設備設置箇所に蓄電池の設置を検討している。

防犯・防災について

- 各部屋・施設間の連絡手段はどうするのか。
⇒（事務局） 内線電話方式で考えている。併せて非常用の押ボタンを検討している。
- 非常用の押しボタンを押すと職員室で何か鳴ると考えて良いのか。
⇒（事務局） 押しボタンを押すと職員室にてどこの場所（エリア）で押されたかがわかるような表示・音がなり、現地では赤色灯によりどこで異常があるかわかるようなものを考えている。
- トイレには付くのか。
⇒（事務局） トイレには考えていない。多目的トイレについては、

緊急呼出ボタンを設置し、職員室へ通知させるよう考えている。

- 災害時に電力の供給が停止した場合に、非常用電源に切り替わるような設備を検討されているが、校舎棟・体育館だけでなく災害時に必要とする施設、設備への電力供給先を充分考慮した設備設計を太陽光発電とともに考えて反映するべき。
- 中庭について、緊急時のドクターヘリの発着場としての利活用も考えられる。
- 正門と東門について運用上の管理方法をしっかり考えてほしい。
⇒（事務局） 学校側としっかり運用方法を協議し、管理を行っていく。

協議確認事業

以上を主な意見として計画に取り入れることを検討し、次回までに計画の中に反映させ最終の基本設計として提示する。

4. その他

報 告

食のあり方懇談会からの報告書の提出を受け、教育委員会で中学校給食を導入するという方向性が決まった。

校敷地内校舎跡地に給食センターを設置することに決定したことの報告を行い、配置予定位置については次回に提示する。

第5回委員会の日程について

次回の委員会の開催日時は平成25年3月26日（水）14：00～
後日、平成25年3月14日（水）15：30～に変更

5. 閉 会